

気仙沼大島ウェルカム・ターミナルについて

大島浦の浜地区に整備を進めておりました「気仙沼大島ウェルカム・ターミナル」の建築工事が完了し、来る令和2年3月8日（日）にプレオープンする運びとなりましたのでご報告します。

1 設置目的

大島観光の玄関口となる浦の浜地区において、来訪者及び住民の交流を促進するとともに、特色ある地域資源を活用した取組の推進により地域経済に活力と好循環を生み、もって来訪者の満足と地域の持続的な豊かさの創出につなげていく。

2 施設概要

(1) 敷地面積 8,979.36㎡（民間商業施設敷地を除く）

(2) ターミナル施設

①構造 木造平屋建て

②延床面積 468.29㎡

③開館時間 9:00～17:00（冬季は16:00）

④休館日 火曜日

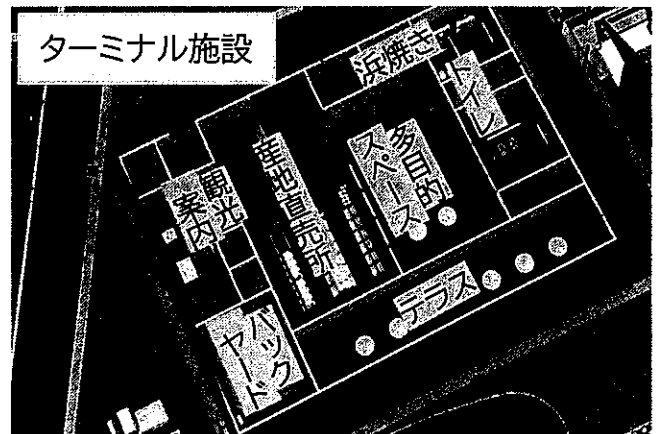
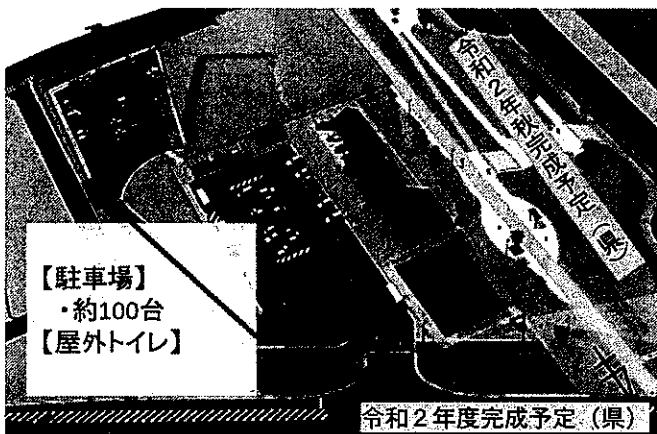
⑤産地直売所・浜焼き 地元組合による運営

⑥多目的スペース 魅力発信映像・震災の記憶スライド等上映

⑦テラス 写真展示「大島百景」

・繁忙期は除く
・状況を見ながら柔軟に対応

・運営協力：地元有志
・貸館可



3 事業費 663,511千円（復興交付金）

（内訳）

(1) 調査設計費 50,621千円

(2) 用地補償費 40,790千円

(3) 盛土造成費 189,685千円

(4) 施設整備費 382,415千円

4 スケジュール

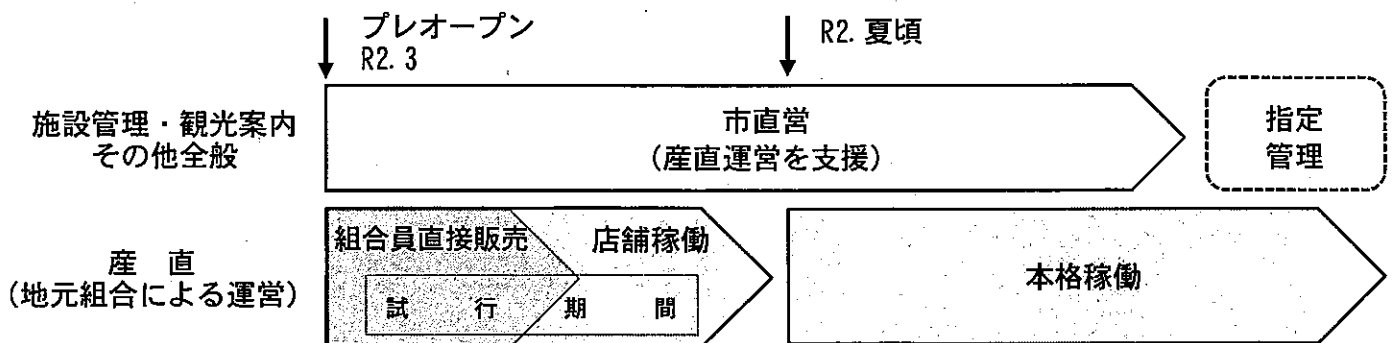
- ・令和2年1月 ターミナル施設引き渡し
- ・ 2月 開業準備
- ・ 3月8日(日) プレオープン(予定)

5 運営体制等について

(1) 当初の運営体制

- ・民間の活力を生かすため指定管理による運営を目指し、より効果的な体制の構築について追求してきた。
- ・ウェルカム・ターミナルの中核を担う「産直」については、地区住民が主体となり組合立ち上げの動きに発展するなど具体的な取り組みにつながってきたが、本格稼働には試行期間を要する。
⇒
 - ・引き続き、市が責任を持って運営体制の構築を進める。
 - ・まずは、令和2年度末までは暫定的に市の直営とし、大島地区の皆様をはじめ地域の皆様と連携しながら運営実績を積み重ね、民間移行(指定管理)への基盤づくりに努めていく。

(2) 試行期間を経たステップアップイメージ



(3) 市直営の体制

- ・3月からは、職員2名が常駐(市職員1名、臨時職員2名で対応予定)し、施設管理や観光案内等の業務を担うとともに、地元組合の自走に向け、産直の運営についても支援していく。
- ・併せて、観光客受入態勢の強化を図るため、観光関係団体との連携を強化していく。